平　成　22　年　度

事　業　報　告　書

決　算　報　告　書

社会福祉法人　横浜市旭区社会福祉協議会

平成２２年度 事業報告書目次

ページ

平成２２年度旭区地域福祉活動計画のまとめ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １

～～助け合い、ともに生きる豊かな地域社会づくりを～～

１．地区社会福祉協議会への活動支援 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２
２．福祉啓発事業の推進 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３
３．第３０回旭区社会福祉大会・地域フェスタの開催 ・・・・・・・・・・・・・・・・ ４
４．災害時のバリアフリー化の推進 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５
５．福祉施設との充実した連携 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ６
６．旭区社会福祉協議会活動計画に基づいた事業の推進 ・・・・・・・・・・・・・・・ ６
７．あさひふれあい助成金 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ６

～～みんなでボランティア活動を～～

１．ボランティア活動の推進 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ７
２．福祉教育の推進 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ９

～～みんなが取り組む自立と参加～～

１．在宅福祉活動の推進 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １０
２．「おでかけ支援事業」（送迎サービス事業）の推進 ・・・・・・・・・・・・・・・ １０
３．心身に障害のある方々への支援 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １０
４．「旭区社協あんしんセンター」事業の推進 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １２
５．低所得者・罹災者等への支援事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １２

ページ

～～健やかに生まれ育つあたたかい地域社会～～

１．児童問題関係の各機関団体との連携・協力　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１３
２．子育てサポートシステム事業の推進　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１３
３．交通遺児勉学奨励金の支給　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１４

～～区社協運営基盤の整備～～

１．旭区地域福祉活動計画策定　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１４
２．社協の運営推進　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１４
３．区社協基盤整備の推進　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１９
４．旭区福祉保健活動拠点“ぱれっと旭”の運営推進　・・・・・・・・・・・・・・・・・　１９
５．各団体事務局の運営　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２０

○資料　平成２２年度 善意銀行関係報告書一覧　２１

平成22年度 横浜市旭区社会福祉協議会事業報告書

助け合い、ともに生きる豊かな地域社会づくりを

1　地区社会福祉協議会への活動支援

1）　地区社協活動支援

地区社協活動の推進を目的に、各地区社協からの相談に応じて情報提供や助成金の交付等を行った。

〇運営・事業推進のための助成費（19地区、総額¥4,370,000）
〇地域福祉講座の助成費　　（@20,000×8地区，@10,000×2地区）
〇地区カルテを作成した。
〇アセスメントシートの作成に着手した。
〇地区担当制を実施し、総会･イベント･計画策定関連会議等に参加した。(延べ２０８回)

2）　地区社協事務局長会議の開催（開催場所：ぱれっと旭）

地区社協活動の推進を目的に、より具体的な研究協議および実務に関わる情報交換や連絡調整を行った。（地区社協会長会議は分科会としてP16に掲載）

開催月日	内　　容	出席
4月２２日（木）	１．平成２２年度地区社協関連助成金について ２．あさひふれあい助成金について ３．ほたるファンドについて ４．地区社協役員研修について ・意見交換会「賛助会費について」	１７人
6月２４日（木）	１．一人暮らしでも大丈夫！「みんなで広げようあんしんネットワーク」へのご協力について ２．地区社協カルテについて	１８人
8月２６日（木）	１．共同募金協力依頼について ２．旭区社会福祉大会概要について ・情報交換「私の健康カードについて」	１９人
10月28日（木）	１．虐待予防に関する記事掲載について ２．旭区社会福祉大会について ３．市社協主催地区社協役員研修について ４．共同募金「街頭募金」について ５．地域福祉活動計画について ・情報提供、交換「私の健康カード」について～消防の立場より ・旭区災害時要援護者支え合いマニュアルについて	１６人
12月21日（火）	１．平成22年度第2回地区社協役員研修について ２．緊急時医療情報キットについて ３．町内会単位の見守り・たすけあい活動モデル事業について ・情報交換会「敬老祝賀会等について」	18人
2月24日（木）	１．平成23年度地区社会福祉協議会　会議等計画（案）について ２．広報委員の推薦について ・平成22年度地域福祉講座実施状況の報告について ・12/8第30回旭区社会福祉大会・地域フェスタの報告について ・平成23年度旭区チャリティーゴルフ大会の開催について	18人

3）　地区社協事務局長会議ワーキンググループ話し合いの開催（開催場所：ぱれっと旭）

地区社協事務局長の小グループによる検討会を開催し、地区社協の様々な課題解決の手だてとなるよう自由な意見交換の場を設けた。

開催月日	内　　容	出席
４月28日（水）	第1回事務局長会議のふりかえり	２人
５月24日（月）	地区社協役員研修について	４人
７月15日（木）	地区社協役員研修についてのふりかえり 8月の事務局長会議について	４人
９月１日（水）	8月の事務局長会議のふりかえり、10月の事務局長会議について	３人

11月5日（金）	10月の事務局長会議のふりかえり、12月の事務局長会議について 地区社協研修について	２人
12月13日（月）	地区社協研修について	３人
2月7日（月）	地区社協研修について	３人

４） 地区社協関係研修等の開催

開催月日 開催場所	内　　容	出席
６月24日（木） ぱれっと旭 多目的研修室	役員研修 「ボランティア等人材募集・育成方法について」 ・沖縄大学人文学部准教授西尾敦司氏による講義 ・① 講義（「ボランティア等人材募集・育成方法について」） ② 事例発表（保土ヶ谷区仏向地区社協、二俣川NT地区社協）	55人
２月24日（木） ぱれっと旭 多目的研修室	研修 「広報“灯台”講座」 ・㈱オープン　高橋　誠一氏による講義 ・広報「虎の巻 」を配布	35人
12月６日（月） 新都市ホール	市社協主催地区社協研修 「ご近所づきあい・たすけあい～私たちにできること～」 取り組み事例紹介 ①瀬谷区細谷戸地区社会福祉協議会 ②西柴団地を愛する会 ③戸塚区名瀬たかの台自治会	50人

事業の目　的	区内１９地区社会福祉協議会の活動の助成や実務者レベルの事務局長会議の開催により、よりよい地域活動を支援する。	事業の効　果	実務者レベルの地区社協事務局長会議を継続的に実施。また、自由な意見交換の場としてワーキンググループでの話し合いも併せて実施することにより、ニーズの把握及び課題解決への一助となった。

２　福祉啓発事業の推進

１）広報紙「あさひいきいき宣言（旭区社協だより）」の発行

〇年２回発行｛10月（第75号）・3月（第76号）｝

〇75号(94,000部)、76号(94,000部)全世帯へ配布(自治会・町内会の協力により配布)

〇第75号の特集：地区社会福祉協議会とは？

〇第76号の特集：青春時代をもう一度　（高齢者の生きがい）

＜広報委員会＞　（開催場所：ぱれっと旭）

開催月日	議　　題	出席
５月１７日 (月)	第１回広報委員会 １．委員の紹介について ２．副委員長の選出について ３．あさひいきいき宣言７５号について	７人
７月１２日(月)	第２回広報委員会 １．あさひいきいき宣言７５号について ２．今後の予定について	８人
8月１３日(金)	第3回広報委員会 １．記事内容、レイアウトについて ２．今後のスケジュールについて	６人
９月２日(木)	第４回広報委員会 １．記事・内容、レイアウトについて ２．今後のスケジュールについて	４人
10月1日(金)	あさひいきいき宣言（旭区社協だより）第７５号発行	

10月４日(月)	第５回広報委員会 １．「あさひいきいき宣言」（第７５号）の振返り ２．「あさひいきいき宣言）」（第７６号）について ３．今後の予定について	７人
11月25日(木)	第６回広報委員会 １．記事内容、レイアウト等について	５人
１２月２４日(木)	第7回広報委員会 １．記事内容、レイアウト等について	６人
1月24日(月)	第8回広報委員会 １．記事内容、レイアウト等について ２．その他	6人
3月1日（火）	あさひいきいき宣言（旭区社協だより）第７６号発行	

２）第21回旭ふれあい区民まつりへの参加

開催月日	平成２２年１０月１７日（日）
開催場所	旭区役所周辺（鎧の渡し緑道、駐車場等）
内　　容	１．福祉ふれあいバザー出店者会議(9月28日開催) ２．福祉ふれあいバザー：9団体の模擬店出店 ３．福祉体験コーナー：4団体参加協力（手話・車椅子・高齢者擬似体験・目隠しﾎｯﾄｹｰｷ） ４．心のバリアフリーカレンダーの販売

３）地域福祉活動情報ネットワーク事業

事　業	実施日	実施場所	内　容	備　考
旭区社協 ホームページ 更新作業	原則毎月４回の更新	ぱれっと旭	ホームページの各種ページの更新	実施・協力 PCどりーむ

(単位：件数･回)

	20年度	21年度	22年度
更新回数	48	48	46
アクセス件数	23,184	17,644	19,132

（閲覧実績については http://www.palletasahi.jp/cgi-bin/pcnt/pcview.cgi を参照）

事業の目的	福祉の啓発と旭区社協の活動をより多くの地域の方々に知っていただき、地域福祉の推進の一歩とする。	事業の効果	定期的な更新のほか、震災義援金情報などを速報で提供することができた。

３　第３０回旭区社会福祉大会・地域フェスタの開催

地域ですすめられている福祉保健活動を知っていただくとともに、地域の方々への福祉への関心を高め、またグループ相互の情報交換と福祉啓発の機会とすることを目的として実施した。
（今回より、旭区福祉保健計画推進事業の発表会である「地域フェスタ」と同日開催とした）

開催月日	平成２２年１２月８日（水）		
開催場所	旭公会堂　　講堂	参加者	４９２人
内　　容	【第１部　社会福祉大会】 区内の２地区社協、２団体による地域福祉活動発表 アトラクション　「ニュータウン歌の会」による合唱曲披露 【第２部　地域フェスタ】 テーマ「地域での見守り活動」２地区発表 「第１期旭区地域福祉保健計画　５か年の振り返り」 ほか、ロビーでの地域福祉活動団体パネル展示、冊子への活動内容掲載、 第２期地域福祉保健計画（素案）意見募集コーナーを設置した。		

＜実行委員会＞

開催月日	議　題	出席
9月3日（金）	１．正副委員長並びに各分科会長の選任について ２．大会内容について	７人

10月19日（火）	１．地域福祉活動発表応募状況について ２．講師・アトラクションについて ３．広報・ＰＲについて ４．当日の流れについて	６人

＜社会福祉大会・地域フェスタ　合同打ち合わせ会＞

開催月日	議　　題	出席
11月19日（金）	１．第30回旭区社会福祉大会・地域フェスタ概要について ２．当日の流れについて ３．当日の役割分担について ４．役割ごとの顔合わせ	実行委員　８人 大会協力員・ フェスタ代表者 ２２人
12月21日（月）	１．第30回旭区社会福祉大会・地域フェスタ実施内容まとめ ２．アンケート結果について ３．意見交換	実行委員　６名 フェスタ代表者 １１人

４　災害時のバリアフリー化の推進

１）「旭区災害ボランティア連絡会」の設立および運営支援

災害時のボランティアコーディネートを円滑に行うための啓発・人材育成・関係団体とのネットワーク構築を担う組織「旭区災害ボランティア連絡会」の設立に事務局として関わり、旭区役所と協働で運営を支援した。

＜設立準備会＞

開催月日	平成２２年７月２８日（水）		
開催場所	旭公会堂１・２号会議室	参加者	１５人
内　　容	１．平成２２年度活動計画案について ２．災害ボランティアコーディネーター養成講座の開催につい ３．連絡会の設立に向けて		

設立に向けた企画委員会　　３回

＜災害ボランティアコーディネーター養成講座＞

開催月日	平成２２年１０月１３日（水）、１１月１７日（水）		
開催場所	ぱれっと旭	参加者	延べ１６３人
内　　容	災害とは、災害ボランティアとは、区の防災対策について、 災害ボランティアコーディネートとは、連絡会設立に向けて　　ほか		

終了後、受講者有志が会員登録し、連絡会設立総会に参加

＜設立総会＞

開催月日	平成２２年１２月１５日（水）		
開催場所	ぱれっと旭	参加者	総会６９人、研修会６２人
内　　容	【第１部　総会】 会則（案）について、活動計画（案）について、役員の選任について 【第２部　研修会】 「災害ボランティアコーディネーターの役割・活動内容について」		

役員会　　３回

会員向け研修会（シミュレーション内部訓練）　参加者３９人

＜第２回　旭区災害ボランティアシミュレーション＞

開催月日	平成２３年３月５日（土）		
開催場所	ぱれっと旭ほか	協力施設	６施設
参加者	６８人　　（うちコーディネーター役１４人・ボランティア役５４人）		
内　　容	連絡会会員と地域防災拠点関係者・一般区民を対象に、大災害を想定した災害ボランティアセンター立ち上げおよび災害ボランティアコーディネート（ボランティア受付・活動紹介・送り出し・フォロー）の訓練を実施し、災害ボランティア活動への理解を深めた。		

2）会員向け救命救急講習会の実施

開催月日	平成２２年９月２７日（月）・１１月１５日（月）　※ボランティア対象 平成２２年９月１３日（月）　※施設職員対象		
開催場所	ぱれっと旭	参加者	６７人
内　　容	本会会員（施設・地域作業所等職員、およびボランティア）を対象に、災害時の区民の救命率向上を目的として、心肺蘇生法・異物除去・止血など応急手当の講習会を実施した。（旭消防署・日赤旭区地区委員会との共催）		

5　福祉施設との充実した連携

1）あさひで働こう！福祉施設等就職相談会

開催月日	平成22年9月24日（金）		
開催場所	旭区民文化センターサンハート	参加者	22施設/75人
内　　容	福祉施設等に就職を希望される方、福祉の仕事に関心のある方を対象に、本会施設分科会員の施設・団体が、就職説明のブースを設置し、説明相談を実施した。(旭区役所後援)		

2）施設の評議員会･運営委員会等への参加　　6回

6　旭区社会福祉協議会活動計画に基づいた事業の推進

区社協は地域福祉活動計画に基づいた地域福祉増進に向けた様々な取り組みを地区社協、自治会町内会、民生委員・児童委員、ボランティアや地域住民等の協力を得ながら協働実施した。

また、旭区地域福祉保健計画の具体化への協働事業として、人材育成・資金援助について区役所とともに実施した。

〈旭区ほたるふぁんど事業〉

区補助金及びチャリティーゴルフ大会寄付金を合算した資金を原資とした助成制度である。助成対象事業を公募し、外部審査委員による審査委員会を6月8日（火）と6月22日（火）の2回にわたり実施。8団体に配分を決定した。

〈公募団体〉　（単位：円）

団　体　名	助　成　額	
１．特定非営利活動法人たちばな福祉会	１件	200,000
２．今宿地区町内会自治会連合会	１件	200,000
３．特定非営利活動法人　若葉台	１件	200,000
４．ＰＣどりーむ	１件	100,000
５．左近山二街区自治会	１件	146,000
６．希望ヶ丘スロープビーンズの会	１件	117,500
７．希望ヶ丘東地区支えあい連絡会マップ作り分科会	１件	200,000
８．白根地区地域福祉保健計画推進委員会	１件	200,000
合　計	８件	1,363,500

○旭区チャリティーゴルフ大会の開催

ほたるふぁんどの支援を目的として、チャリティーゴルフ大会を開催した。

開催日：５月１０日（月）　場所：戸塚カントリー倶楽部　参加者数：１２０人

7　あさひふれあい助成金

区社協での助成金制度とよこはまふれあい助成金を統合し、主に旭区内で行われる非営利な地域福祉推進事業や障害福祉推進事業の支援を行う。公募により申請を受付け、5月31日（月）の助成金審査委員会で配分を決定した。

〈公募団体〉　（単位：円）

A	①区民参加による地域福祉推進事業	14団体	3,690,280
	②区民参加による地域福祉推進事業	2団体	228,880
	③区民参加による地域福祉推進事業	58団体	5,223,630
	④区民参加による地域福祉推進事業	3団体	190,000
B	①障害者当事者活動	0団体	0
	②障害者当事者活動	15団体	880,000
	③障害者当事者活動	8団体	420,000
C	福祉のまちづくり活動	27団体	1,521,000
D	その他審査会で必要と認めるもの	0団体	0
合　計		127団体	12,153,790

事業の目　的	地域の福祉・保健に関する様々な課題を協働して解決していくための活動に、資金面から助成を行った。	事業の効　果	各団体・グループとも活動の促進を図ることができた。

みんなでボランティア活動を

1　ボランティア活動の推進

1）ボランティアコーディネート業務の推進

○ボランティア依頼状況　（単位：件数・人）

依　頼　内　容	依頼件数		
	２０年度	２１年度	２２年度
単発ニード	289	274	247
定期ニード	34	34	35
合　計	323	308	282

○個人ボランティア新規登録状況　（単位：人）

	２０年度	２１年度	２２年度
男	33	45	34
女	83	51	74
合計	116	96	108

○ボランティアグループ登録状況　（単位：団体）

２０年度	２１年度	２２年度
143	150	162

○旭区ボランティアセンターだよりの発行

発行	年２回発行　（9月・3月に班回覧）
内容	ボランティアセンターやボランティアグループの活動紹介、講座の広報など

2）各種講座・研修会の開催

○ボランティアミニ講座（高齢者疑似体験・車いす編）

目　的	体験を通じて、ボランティア活動に触れる機会を作ることを目的とする。
期　日	平成２２年4・６・９・１２月、平成２３年2月　第４土曜日　（計５回）
場　所	旭区福祉保健活動拠点（ぱれっと旭）
内　容	車椅子体験、高齢者擬似体験
参加状況	受講者数　延べ２６人
講座後の動き	講座参加者に対し、ボランティア登録などを勧めた。

結　　果	ボランティア活動の導入として来所者に受講を促すことで登録や活動につながっている。しかし、全体的には、参加者が少ないため、今後もＰＲ方法の検討が必要。

○ボランティアミニ講座（手話編）

目　　的	体験を通じて、ボランティア活動に触れる機会を作ることを目的とする。
期　　日	平成２２年7月３０日（金）
場　　所	旭区福祉保健活動拠点（ぱれっと旭）
内　　容	手話体験
参加状況	受講者数　延べ１１人
講座後の動き	講座修了後､ボランティアに関する様々な情報提供を行った。
結　　果	広報の効果もあり、参加者数の増加に結びついた。今後も引き続き周知に力を入れていくことが必要。

○知的障害理解入門講座

目　　的	知的障害に関する理解を深めることを目的とする。
期　　日	平成２２年8月5日（木）
場　　所	旭区福祉保健活動拠点（ぱれっと旭）
内　　容	講義及び意見交換
参加状況	受講者数　２８人
講座後の動き	講座修了後､ボランティア登録を勧めた。また、ボランティアに関する様々な情報提供を行った。
結　　果	学齢障害児余暇支援事業「かりぁ～ず」の参加者を対象とした事前研修と位置付け、講座受講者の知的障害に対する理解も深まった。

○知的障害理解入門講座

目　　的	知的障害について、障害特性や接し方等を学ぶ。
期　　日	平成２２年１２月１３日（月）、20日（月）、21日（火）
場　　所	サポートセンター連、旭区福祉保健活動拠点（ぱれっと旭）、南希望が丘ケアプラザ
内　　容	講義及び意見交換
参加状況	受講者数　延べ２１人
講座後の動き	講座修了後､ボランティア登録を勧めた。また、ボランティアに関する様々な情報提供を行った。
結　　果	活発な意見交換が行われ、講座受講者の知的障害に対する理解も深まった。

○精神障害理解入門講座

目　　的	精神障害に関する理解を深めることを目的とする。
期　　日	平成２２年１２月１４日（火）
場　　所	旭区福祉保健活動拠点（ぱれっと旭）
内　　容	講義及び意見交換
参加状況	受講者数　延べ１２人
講座後の動き	講座修了後､ボランティア登録を勧めた。また、ボランティアに関する様々な情報提供を行った。
結　　果	活発な意見交換が行われ、講座受講者の精神障害に対する理解も深まった。

3）備品貸出　（単位：件）

	車いす	ｱｲﾏｽｸ	白杖	点字器	疑似体験ｾｯﾄ	布おもちゃ	合計
22年度	63	7	3	6	28	46	153
21年度	47	4	3	2	17	35	108
20年度	67	5	0	1	16	34	123

事業の目　的	ボランティア活動の活性化と、より多様化するニーズに対応する活動の推進	事業の効果	潜在する地域の活動者に対して、啓発的な事業を展開することができた。障害等、ニーズの多い活動に対して対応できる素地をさらに広めることが必要と思われる。

2　福祉教育の推進

1）福祉施設夏期体験学習

目　　的	次世代の「福祉の担い手」である中学生が福祉現場での体験を通し、基礎的な福祉への理解を習得することにより福祉のまちづくりの一助とする。
内　　容	旭区内の社会福祉施設での体験実習 １コース　５日間 （各施設で計画されるプログラムに沿って活動）
実施期間	平成２２年７月２６日（月）～８月１３日（金）
実施状況	受け入れ施設 35施設、参加者　区内中学校 8校　2･3年生 ８５人
研　　修	事前：７月17日（土）ぱれっと旭多目的研修室　参加者　中学２・３年生　69人 内容：①オリエンテーション②体験に伴う諸注意などについて職員より説明 事後：８月21日（土）ぱれっと旭多目的研修室　参加者　中学２・３年生　49人 内容：グループワーク「夏休みの体験」体験発表

2）福祉教育相談状況

相談件数	区内小学校 １６件・中学校 １件・高等学校 ２件・その他 1件
主な内容	○社協の役割に関する講演の実施。 ○車いす体験、片麻痺体験、白内障体験など、種々の体験授業の実施。 ○手話講座の開催にあたり、講師派遣調整の実施。 ○車いす体験、ならびに車椅子ユーザーの講師の派遣等に関する調整の実施。 ○視覚障害のある方への講演開催にあたり、講師派遣等の調整実施。

※ その他、電話や窓口における多様なボランティア相談に各担当より対応した。

3）福祉教育研究会

開催月日	開催場所	内　　容
2月3日 （木）	ぱれっと旭 多目的研修室	パネルディスカッション『福祉教育の現状と今後の課題』 グループディスカッション『地域での現状と今後の課題』 発表者：熊野　一隆氏　（横浜市立鶴ヶ峯中学校） 黒澤　修氏　（横浜市立南希望が丘地域ケアプラザ） 小笠原　富久子氏　（旭区ボランティア連絡会） 鈴木　載代氏　（上白根地区社会福祉協議会会長） 参加者：66名

4）福祉教育推進隊

開催月日	開催場所	内　　容	委員
8月20日 10月7日 11月25日 1月13日 3月24日 （全て木曜）	ぱれっと旭 団体交流室	1．平成22年度「福祉教育研究会」について	8人
		2．平成22年度「福祉教育研究会」の進め方について	
		3．平成22年度「福祉教育研究会」について	
		4．平成22年度「福祉教育研究会」講演内容について	
		5．平成22年度「福祉教育研究会」の振り返り	

事業の目　的	「福祉教育推進隊」とともに福祉教育について各関係機関と連絡調整をすすめる。	事業の効　果	学校からの講演依頼や、福祉教育事業の協力は、ボランティアグループや関係機関の協力によりスムーズに調整することができた。夏休みを利用した中学生の施設体験学習は、参加者が増え、体験学習後にボランティアセンターへ登録し活動する生徒が増えているなど、福祉教育の推進が図られている。

みんなが取り組む自立と参加

1　在宅福祉活動の推進

1）食事サービス活動支援事業

食事サービスグループ活動の充実を目的として研修会や連絡会運営の支援をした。

開催月日	開催場所	内　　容	出席
6月２３日（水）	ぱれっと旭	１．平成21年度第2回連絡会報告 ２．平成22年度連絡会研修会について	３１人
2月１６日（水）	ぱれっと旭	１．次期連絡会会長・副会長の選任について ２．次期区社協評議員、各種委員候補者の推薦について ３．「市民による食事サービスに関する調査・研究事業報告会」について	２８人

2）地域での支えあい活動の支援

区や地域ケアプラザ等と協働して、地域での支えあい活動の支援を行った。

3）旭区徘徊高齢者ＳＯＳネットワーク事業の推進

「旭区の認知症を考える会」に参加し、認知症のＰＲや事業化に向けた検討を行った。

2　「おでかけ支援事業」（送迎サービス事業）の推進

1）ボランティア登録状況　（単位：人）

	運転ボランティア	同乗ボランティア	合　　計
登録者数	50	16	66

2）送迎サービス利用者登録状況　（単位：人）

年　　度	２０年度	２１年度	22年度
登録者数	241	280	331

3）年度別送迎利用状況　（単位：件）

対象者＼年度	２０年度	２１年度	22年度
高齢・難病患者等	946	1125	1240
障害者等	660	564	601
合　計	1,606	1,688	1,841

事業の目　的	在宅生活で一人で出かけることのできない障害者・高齢者の外出を支援する。	事業の効　果	介護保険利用者（高齢者）の方への周知が進んできたためか、新規の利用登録者数が大幅に増加した。

3　心身に障害のある方々への支援

1　在宅障害児サポート事業

区内地域ケアプラザ・障害児者関係機関（地域活動ホーム・特別支援学校）・訓練会・ボランティア団体等で構成する「旭区学齢障害児余暇支援事業実行委員会」の一員として事務局を担い、ボランティアの協力を得て夏休みの余暇支援事業「かりぁーず」を実施した。

開催日	１日目：平成２２年８月１１日（水） ２日目：平成２２年８月１７日（火） ３日目：平成２２年８月２０日（金）
障害児参加数	述べ２５人（実数２５人）
ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ参加数	延べ４７人（実数４３人）
内容	夏休みを利用し、日帰りで障害児がボランティアとの交流を図った。 １日目：調理、すいか割り、水遊び ２日目：貸し切りバスで外出し、はまぎんこども宇宙科学館見学 ３日目：プール、室内遊び

事業の目　的	障害児の余暇支援及びその家族へのサポートを目的とする。	事業の効　果	２１年度に続き、実行委員会方式で事業実施することで、参加団体・関係機関との顔の見える関係が構築された。プログラム内容は概ね好評だったが、一方で参加人数を増やしてほしいとの要望もあった。２３年度のプログラムに反映していきたい。

２　あさひバリアフリー検討会の実施

１）検討委員会（開催場所：ぱれっと旭）

回　数	開 催 日	検　　討　　内　　容	出席
第１回	９月２９日 （水）	①２０１１年心のバリアフリーカレンダー作成について ②心のバリアフリーの絵作品展の開催について	５人

２）心のバリアフリーカレンダー作成

区内小学校に絵の募集をし、心のバリアフリーカレンダーを2,000部作成。
各小学校･自治会･町内会、公共機関に配布し、啓発活動を実施した。

事業の目　的	障害のある方へのバリアフリーについて検討し住み良い旭区をめざして、意識作りを進める。	事業の効　果	「心のバリアフリー」カレンダーを作成し、小学校や地域に啓発活動を行った。

３　作業所連絡会の開催（開催場所：ぱれっと旭）

	開 催 日	内　　容
第１回	平成２２年 ６月１６日 (水)	・知的障害や自閉症のある人への支援 ・旭区地域自立支援協議会について ・その他　　参加団体：７団体

４　ぱれぱれフェスタの実施

平成２２年7月1日（木）～3日（土）　　入場者数：６９３人
目　的：区民に区内地域作業所等の内容や障害についての理解を深めていただく。
内　容：作業所紹介パネル展示・製品販売・喫茶ｺｰﾅｰ・ｱﾄﾗｸｼｮﾝ（ﾐﾆｺﾝｻｰﾄ・紙芝居ほか）

＜実行委員会＞

開 催 月 日	議　　題	出席
4月6日（火）	１．参加状況、内容の確認について ２．役割分担および今後の予定について	１０人
6月１6日（水）	１．各コーナーの内容について ２．前日および当日の確認事項について	１２人
7月29日（木）	１．アンケート集計報告 ２．今後の方向性について	１０人

５　旭区地域自立支援協議会への参加

障害のある方への相談支援の体制を検討するための旭区地域自立支援協議会に事務局として加わり、区内関係機関の参加による合同会議および専門部会（身体・知的／相談職種）を開催し相談課題や具体の取り組み策の検討を行うとともに、相互の連携を強めた。

（活動内容）合同会議３回、専門部会14回、事務局会議11回
各種作業部会（課題検討プロジェクト）の開催
旭区地域生活支援フォーラム、合同研修会、進路連絡会の開催

６　地域活動ホーム･作業所運営委員会等への参加　　7回

事業の目　的	旭区地域自立支援協議会は、区内の障害児・者の生活支援のために関係機関と連携し、顔の見える関係づくりを基盤に、誰でも、いつでも開催できる個別ケア会議の仕組みをつくることをねらいとする。	事業の効　果	各専門部会の活動を通して、区域内の課題の共有に努めた。関係機関の連携を深める各種事業（フォーラム・研修会・進路連絡会）や課題別作業班を開催した。作業所連絡会では、地域作業所等の内容を知り障害の理解を深めるイベント「ぱれぱれフェスタ」を連携して継続実施。

４　「旭区社協あんしんセンター」事業の推進

ご自分ひとりで、金銭や財産関係書類等の管理が不安な高齢者や障害のある方々のために生活や金銭管理等の相談に応じ、契約に基づいたサービスの提供を進めた。この事業のＰＲを進めるとともに困難ケースについて、各関係機関と連携を進めた。

（単位：件数・人）

		20年度	21年度	22年度
初回相談件数		63	61	66
ｻｰﾋﾞｽ	定期訪問・金銭管理ｻｰﾋﾞｽ件数	25	28	26
	預かりｻｰﾋﾞｽ件数	8	11	8
利用者総数		25	28	26
新規利用者数		8	8	8

◎PR活動・講演会

10月4日（月）「あんしんセンターについて」上白根地域ケアプラザ　15人

10月15日（金）「地域で暮らす高齢者の権利擁護」横浜シニア大学　52人

◎成年後見サポートネットへの参加

9月3日（金）　事例検討

3月9日（水）　成年後見の現況についての情報提供・意見交換

事業の目的	日常的な金銭管理などが困難な高齢者、障害者を対象に金銭管理などのサービスを行う。	事業の効果	成年後見制度やあんしんセンター事業に対する相談が増えており、権利擁護事業に対する地域住民の関心の高まりがうかがえる。利用者は、高齢者だけではなく、障害のある方の支援の必要性も高まっている。

５　低所得者・罹災者等への支援事業

１）貸付事業の推進

○生活福祉資金貸付事業　※うち（　）内は緊急小口資金

	２０年度	２１年度	２２年度
相談件数	９６ 件	１９０件	573件（167件）
貸付件数	１ 件	２４件	44件（17件）
貸付決定額	82,000円	12,204,000円	14,274,000円 (1,580,000円)

○離職者支援資金貸付事業（平成21年9月まで）

	２０年度	２１年度	２２年度
相談件数	１５ 件	２９件	―
貸付件数	１ 件	２件	―
貸付決定額	2,400,000円	2,600,000円	―

○長期生活支援資金貸付事業（平成２１年１０月より不動産担保型生活資金に改称）

	２０年度	２１年度	２２年度
相談件数	９件	１３件	１３件
貸付件数	０件	０件	０件
貸付決定額	０円	０円	０円

○総合支援資金貸付事業（平成２１年１０月新設）

	２０年度	２１年度	２２年度
相談件数	―	１２３件	９８９件
貸付件数	―	４２件	５５件
貸付決定額	―	19,004,000円	32,332,182円

○臨時特例つなぎ資金貸付事業（平成２１年１０月新設）

	２０年度	２１年度	２２年度
相談件数	ー	１４件	２２件
貸付件数	ー	８件	６件
貸付決定額	ー	760,000円	600,000円

２）災害見舞金の交付

区内在住で火災等の罹災者に見舞金を交付した。

○平成22年度：　計8件　　100,000 円
○平成21年度：　計6件　　100,000 円
○平成20年度：　計10件　　170,000 円
○平成19年度：　計4件　　40,000 円

健やかに生まれ育つあたたかい地域社会

１　児童問題関係の各機関団体との連携・協力

１）子育て支援連絡会

○定例会　年３回参加　　旭区役所新館大会議室　他
○パネルディスカッション実施　（１月２１日（金）・旭区公会堂）

２）子育てサロン交流会

平成２３年３月７日（月）
①子育て支援活動者向け講座「パネルシアターを学ぼう！～演じるって楽しい～」
②地域サロン・サークル交流会

２　子育てサポートシステム事業の推進

１）入会説明会　１１回　（3月１５日分は地震の影響のため中止）

（単位：人）

	２０年度	21年度	22年度
入会説明会	124	113	123
個別説明※	7	20	21
出張説明会			4
合　計	131	133	148

※個別説明を随時区社協事務所で行った。

２）会員交流会

開催月日	開催場所	内　　容	出　席
9月１３日（月）	ぱれっと旭	ネイル講座、交流会	２１名
2月３日（木）	瀬谷公会堂	保土ヶ谷区・泉区・瀬谷区・旭区合同会員交流会（アロマストレッチ）	２７名

３）地区リーダー交流会（旭・保土ヶ谷・泉・瀬谷の４区合同）

○隔月第２火曜日実施
○内　容　実施状況・各区の状況を情報交換・システム改善について意見交換

４）登録状況

（単位：人）

	２０年度	21年度	22年度
利用会員	192	188	222
提供会員	43	50	59
両方会員	13	18	26
合　計	248	256	307

５）援助活動状況　（単位：件）

	20年度	21年度	22年度
援助活動状況	1,673	1,257	1,083

事業の目　的	地域の中に子どもの預け預かるシステムを進め、子育てのサポートの体制を作る。	事業の効　果	昨年度に比べ、会員が増えたが、いざというときの為に利用したいという方が多い。活動に繋げられるようなPRが今後必要。

３　交通遺児勉学奨励金の支給

平成22年度：小学校入学1人（50,000円）
平成21年度：中学校入学1人（50,000円）、高校卒業１人（50,000円）
平成20年度：小学校入学1人（50,000円）高校卒業１人（50,000円）

区社協運営基盤の整備

１　旭区地域福祉活動計画の策定

旭区と協働し、計画策定事務局として策定委員会や地区別支援チームに参画して、第3次旭区地域福祉活動計画を第2期旭区地域福祉保健計画と一体のものとして策定した。

１）旭区地域福祉保健計画策定委員会

開催月日	開催場所	内　　容	出席
６月２３日(水)	旭区役所新館2階4号会議室	・区全域計画進捗状況報告 ・地区別計画進捗状況報告 ・地区別計画フォーマットについて ・区民意見募集について ・その他	９人
11月17日(水)	旭区役所新館2階大会議室	・計画の愛称等について ・計画素案について ・区民意見募集について ・今後のｽｹｼﾞｭｰﾙについて ・その他	8人
1月19日(水)	旭区役所新館2階大会議室	・素案に対する区民意見募集の結果報告について ・第２期計画の推進体制について ・計画案について ・その他	9人

２）地区別支援チーム研修会

開催月日 開催場所	内　　容
4月23日(金) 4月27日(火) 各日とも 同一内容	【新任者対象研修】 ・地域福祉保健計画について ・旭区地域福祉保健計画策定体制について ・地区別支援チームの活動について
5月17日(月) 5月20日(木) 各日とも 同一内容	【チームメンバー研修】　※健康福祉局・ウィリング横浜と共催 ・地域福祉保健計画の意義と地区別支援チームの役割 ・「地域を知ることからはじめよう」 ～地域を知り、地域に入るために何をつかんでおくべきか～ 講師：山路清貴氏（平成２２年度旭区地域福祉保健計画コンサルタント）

（その他）チームリーダー連絡会８回、事務局会議１５回
支援チームメンバー向け情報紙「きらっとニュース」の発行（全３回）
地区別計画策定会議への参加

２　社協の運営推進

１）理事会の開催(開催場所：ぱれっと旭)

開催月日	議　　題	出席	結　　果
5月25日 (火)	１．評議員候補者の同意について ２．平成21年度事業報告並びに収支決算について ３．平成22年度収支予算の補正(案)について ４．経理規定の一部改正について ５．地域福祉活動計画の策定進捗状況について ６．会員入会および退会について	理事 ８人 監事 ２人	各議案は原案どおり承認された。
7月26日 (月)	１．評議員候補者の同意について ２．旭区社会福祉大会について ３．かりぁーずについて ４．地域福祉活動計画の策定進捗状況について ５．災害ボランティアネットワークについて ６．会員退会について	理事　９人 監事　２人	各議案は原案どおり承認された。
9月28日 (火)	１．地域福祉活動計画の策定進捗状況について ２．旭区社会福祉大会について ３．かりぁーずについて ４．会員入会について	理事 １１人 監事 ２人	各議案は原案どおり承認された。
11月22日 (月)	１．平成22年度収支予算の補正(案)について ２．理事・評議員・各種委員会委員の改選について ３．あんしんセンター事業実施要領の一部改正について ６．会員加入および退会について	理事 １０人 監事 ２人	各議案は原案どおり承認された。
1月25日 (火)	１．理事・評議員・各種委員会委員の改選について ２．地域福祉活動計画について ３．会員の入退会について	理事　１０ 監事　２人	各議案は原案どおり承認された。
3月22日 (火)	１．評議員の欠員にかかる候補者の同意について ２．役員改選に伴う評議員候補者並びに各種委員会委員の同意について ３．平成22年度収支予算の補正(案)について ４．平成23年度事業計画(案)について ５．平成23年度収入・支出予算(案)について ６．旭区社会福祉協議会部会、分科会及び委員会等設置規程の一部改正について ７．会員の入会について	理事 ９人 監事 ３人	各議案は原案どおり承認された。

２）監査会の開催(開催場所：ぱれっと旭)

開催月日	内　　容	出席	結　　果
5月19日 (水)	１．平成21年度事業・決算・財産等の監査	監事 ３人	監査の結果、適正と報告された。

３）評議員会の開催(開催場所：ぱれっと旭)

開催月日	議　　題	出席	結　　果
5月31日 (月)	１．理事候補者の選任について ２．平成21年度事業報告並びに収支決算について ３．平成22年度収支予算の補正について ４．経理規定の一部改正について ５．地域福祉活動計画の策定進捗状況について 報告事項	評議員 １９人 会長 監事　３人	各議案は原案どおり承認された。
11月26日 (金)	１．平成22年度収支予算の補正(案)について ２．監事の選任について 報告事項 その他	評議員 １９人 会長	各議案は原案どおり承認された。

3月28日 (月)	1．旭区社会福祉協議会部会、分科会及び委員会等設置規程の一部改正について 2．理事・監事候補者の選任について 3．平成22年度収支予算の補正(案)について 4．平成23年度事業計画(案)について 5．平成23年度資金収支予算書(案)について 報告事項	評議員 １８人 会長	各議案は原案どおり承認された。

4）各種分科会・委員会の開催

○施設分科会　開催場所：ぱれっと旭

開催月日	議　題	出席
6月9日 （水）	1．平成21年度区社協事業報告について 2．平成22年度区社協事業計画について 3．施設分科会22年度事業について 4．第30回旭区社会福祉大会概要について 5．地域福祉保健計画策定状況について 6．善意銀行寄託物品の配分について 7．施設体験学習の進捗状況について 8．その他	21人
2月9日 （水）	1．次期分科会長・副分科会長について 2．任期満了に伴う次期理事・評議員等の推薦について 3．施設分科会　22年度「就職相談会」について 4．22年度「Let's try ぼらんてぃあ」について(報告) 5．地域福祉保健計画について 6．その他	15人

○民生委員児童委員分科会（区民生委員児童委員協議会へお諮りしました）

開催月日	議　題	出席
4月8日（木）	1．「ほたるふぁんど」申請団体の募集について	２０人
6月10日（木）	1．「ぱればれフェスタ」開催について	２０人
7月8日（木）	1．平成21年度生活福祉資金借受世帯援助記録票整備状況報告の提出依頼について 2．第３０回旭区社会福祉大会・地域フェスタ　実行委員の選出について 3．「かりぁーず」ボランティア募集について	２０人
9月10日（木）	1．共同募金（街頭募金）の日程・資材について 2．災害ボランティアコーディネーター養成講座の開催について 3．平成２２年度生活福祉資金民生委員実費弁償費の支払及び領収書の提出について	２０人
10月8日（木）	1．平成22年度「年末たすけあい募金」配分対象者の調査について 2．第３０回旭区社会福祉大会・地域フェスタの開催について（周知並びに参加依頼） 3．「生活福祉資金貸付事業における民生委員の役割について（案）」について	２０人
11月12日（木）	1．2010年こころのバリアフリーカレンダーの配布について	４０人
12月11日（木）	1．理事・評議員並びに各種委員候補者の推薦について 2．平成22年度「年末たすけあい募金」個別配分について 3．平成22年度生活福祉資金新任民生委員研修会について	２０人
2月10日（木）	1．第３０回旭区社会福祉大会・地域フェスタ報告 2．旭区災害ボランティア連絡会の設立並びに 第２回旭区災害ボランティアシミュレーションの開催について	２０人
3月11日（木）	1．平成23年度旭区チャリティーゴルフ大会の開催について	２０人

○地区社協分科会　開催場所：ぱれっと旭

開催月日	議　題	出席
5月27日 （木）	1．地域における災害時の水道について 2．ほたるふぁんどについて 3．第7回ぱればれフェスタについて 4．22年度役員研修内容について 5．平成21年度事業報告･決算について 6．その他	１７人

7月22日 （木）	1．地区社協の顕彰について 2．あさひふれあい助成金の配分結果について 3．ほたるふぁんどの審査結果について 4．地域福祉保健計画策定進捗状況について 5．災害ボランティアネットワークについて	１６人
9月30日 （木）	1．地域福祉保健計画策定進捗状況について 2．旭区社会福祉大会について 3．共同募金協力依頼について 4．災害ボランティアコーディネーター養成講座の開催について	１８人
11月25日 （木）	1．すすめよう心のバリアフリーカレンダーについて 2．地域福祉活動計画について ・12/8（水）旭区社会福祉大会について ・市社協賀詞交歓会について ・地区ボランティアセンターについて ・旭区災害ボランティア連絡会（仮称）の設立について ・県・市社会福祉大会受賞者の表彰について	１６人
1月27日 （木）	1．次期分科会長・副分科会長の選出について 2．理事・評議員、各種委員候補者の推薦について 3．賛助会費について 4．第2回地区社協役員研修について ・12/8(水)旭区社会福祉大会について ・旭区災害ボランティア連絡会の設立について ・社協窓口満足度調査アンケートについて	１６人
3月25日 （木）	1．きらっとあさひ助成金について 2．あさひ安全安心かわら版について 3．　役員改選にかかる理事・評議員および各種委員会委員の選任について 4．　平成23年度 地区社会福祉協議会 会議等計画(案)について 5．　平成23年度賛助会費募集について 6．平成23年度地区社協関連の助成金について 7．平成23年度旭区チャリティーゴルフ大会について ・東日本大震災にかかる情報提供について ・各地区社協の総会の日程について	１６人

○当事者団体分科会　開催場所：ぱれっと旭

開催月日	議　　題	出席
8月10日 （火）	1．平成２１年度事業報告・決算報告について 2．平成２２年度事業計画・予算について 3．第30回旭区社会福祉大会・地域フェスタについて 4．旭区地域福祉保健計画の策定進捗状況について 5．災害ボランティア連絡会について 6．あさひふれあい助成金配分結果報告 7．その他	１１人
2月8日 （火）	1．次期部会長・副部会長の選出について 2．理事・評議員・各種役員候補者の推薦について 3．旭区地域福祉保健計画について 4．その他	１１人

○ボランティア分科会　開催場所：ぱれっと旭

開催月日	議　　題	出席
6月23日 （水）	1．平成21年度事業報告及び決算について 2．平成22年度事業計画及び予算について 3．第30回旭区社会福祉大会・地域フェスタ（仮称）について 4．旭区地域保健福祉計画第2期区計画の柱立てについて 5．旭区災害ボランティア連絡会設立及び活動スケジュールについて	４７人

2月16日 （水）	１．次期分科会長・副分科会長の選任について ２．次期区社協理事・評議員、各種委員候補者の推薦について ３．平成23年度の活動について ４．第30回旭区社会福祉大会・地域フェスタ報告について ５．第２期旭区地域福祉保健計画について ６．旭区災害ボランティア連絡会について ７．平成23年度あさひふれあい助成金説明会日程について ８．平成23年度各種ボランティア保険について ９．その他	４７人

※その他　ボランティア連絡会定例会でニーズ依頼や拠点関係について説明（毎月）

○福祉関係団体分科会　開催場所：ぱれっと旭

開催月日	議　　題	出席
6月30日 （水）	１．平成21年度事業報告ならびに平成22年度事業計画について ２．評議員候補者の選出について ３．その他	９人
2月8日 （火）	１．次期分科会長・副分科会長の選任について ２．任期満了に伴う次期理事・評議員・各種委員候補者の推薦について ３．地域福祉保健計画について	11人

５）苦情解決への対応

	２０年度	２１年度	２２年度
受付件数	１２件	７件	２３件
内訳	日赤社資募集７件、共同募金３件、賛助会費２件、拠点運営１件、その他１件 ※重複２件	日赤社資１件、共同募金２件、賛助会費２件、送迎サービス１件、助成金１件	日赤社資６件、共同募金１１件、賛助会費３件、生活福祉資金１件、助成金１件、その他２件 ※重複１件

６）共催・後援活動

	項目	事　業　名	主　催　者	内　　容
①	後 援	旭区舞踊協会 チャリティ発表会	旭区舞踊協会	○日時　5月16日（日） ○場所　旭公会堂 ○内容　チャリティ発表会
②	後 援	全建総連神奈川土建 第３３回住宅デー	神奈川土建一般労働組合 横浜西支部	○日時　6月13日（日） ○場所　中希望が丘くすのき公園・都岡町内会館・善部むつみ会館 ○内容　チャリティイベント
③	共 催	第３０回高齢者の健康を進める運動講演会	旭区老人クラブ連合会	○日時　6月25日（金） ○場所　旭公会堂 ○内容　文化祭
④	後 援	第21回２０１０ 旭ジャズまつり	旭ジャズまつり実行委員会 旭区文化振興会 旭区地域振興課	○日時　8月1日（日） ○場所　子ども自然公園　野球場 ○内容　チャリティジャズ演奏
⑤	後 援	第31回旭区民文化祭	旭区文化振興会	○日時 10月3日（日）から12月5日(日) ○場所　旭公会堂 ○内容　文化祭
⑥	後 援	第14回市民向け講座 講演会「認知症の正しい理解とその対応」	医療法人社団　鵬友会	○日時 10月22日（金） ○場所　サンハート ○内容 講演会
⑦	後 援	ひかり福祉フェスタ 2010	ひかり福祉フェスタ 実行委員会	○日時　11月14日（日） ○場所　ひかりが丘地域ケアプラザ ○内容　模擬店、紹介展示、相談コーナー等
⑧	共催	旭区地域生活支援 フォーラム	旭区地域自立支援協議会	○日時　2月19日（土） ○場所　旭公会堂 ○内容　講演・作業所等製品販売
⑨	後援	講演会 障がいのある人の将来にわたる安心な暮らしとは	社会福祉法人　白根学園	○日時　3月11日（金） ○場所　旭公会堂 ○内容　講演

○平成２１年度：後援９件・共催２件
○平成２０年度：後援9件

３　区社協基盤整備の推進

１　地域福祉活動財源の確保

１）賛助会費の募集の推進総額　5,513,440 円
２）福祉基金の積立基金総額　71,140,000 円
３）善意銀行の運営　寄託総額　1,641,954 円
　　配分額　5,118,496 円

○運営委員会

開催月日	開催場所	議　　題	出　席	結　　果
6月28日（月）	ぱれっと旭	１．平成21年度ボランティアセンター事業報告 ２．寄託金品の配分につ ３．その他	委員5人	各議案は原案のとおり承認された
12月9日（木）	ぱれっと旭	１．寄託金の配分につい ２．ボランティアセンター事業について ３．その他	委員5人	各議案は原案のとおり承認された
2月28日（月）	ぱれっと旭	１．ボランティアセンター事業中間報告 ２．寄託金品の配分につ ３．運営委員会の形態（案）について ４．ボランティアセンター事業について	委員5人	各議案は原案のとおり承認された

○寄託・配分状況　（単位：円）

種　別	繰　越　金	寄託件数	寄 託 金 額	配 分 金 額	配 分 残 額
社 会 福 祉	13,603,691	56件	1,641,954	5,118,496	10,127,149

４）年末たすけあい募金　募金実績額　7,366,061 円
　　配分額　3,415,000 円
　　事務費　222,009 円
　　翌年度地域福祉事業引当金　4,173,070 円

（単位：円）

配分対象		対象数	配分単価	配分額
要援護世帯	独居高齢者	307人	2,000	614,000
	寝たきり高齢者	4人	5,000	20,000
	小　　計	311人		634,000
あさひふれあい助成金へ				2,781,000
合　　計				3,415,000

４　旭区福祉保健活動拠点“ぱれっと旭”の運営

○旭区から運営管理委託を受け、運営している。
　なお、１８年度から横浜市の指定管理者となった。

○利用状況

	２０年度	２１年度	２２年度
利用登録団体	139	142	149
利用件数	2,497	2,678	2,723

○利用団体懇談会の開催
　利用団体懇談会を開催し、利用方法の周知を図るとともに、ご利用者の要望を聞くことができた。
　各団体の自己紹介を行い、団体同士連携をし、活動の幅を広げていけるような時間を設けた。
　　開催期日：３月１６日（水）　　２１団体参加

○“ご利用の手引き”の作成・配布
　　平成２３年度版を作成し、利用団体懇談会の際、利用団体に配布し周知を行った。

事業の目　的	区内で自主的に福祉保健の活動を行っている団体等に活動を行う場を提供することにより、活動の活発化を図る。	事業の効　果	ボランティアグループをはじめ、当事者団体など多くの団体が利用することにより、自主的な活動が活発化する一助となった。

５　団体事務局の運営

　次の各団体の事務局の運営を進めた。
◇神奈川県共同募金会旭区支会　　◇旭保護司会
◇旭区更生保護女性会　　◇旭区遺族会
◇旭区更生保護協会
◇日本赤十字社神奈川県支部横浜市地区本部旭区地区委員会

○物品寄付一覧

No.	月 日	寄 託 者 名	物品名
1	4/7	下川井町内会	プルタブ
2	4/9	横浜市ひかりが丘地域ケアプラザ	エコキャップ
3	4/10	林　正男	プルタブ
4	4/12	神奈川県理容生活衛生同業組合旭支部	理容券
5	4/19	匿名	プルタブ
6	5/7	特別養護老人ホーム旭ホーム	プルタブ、エコキャップ
7	5/10	匿名	エコキャップ
8	5/10	神奈川県理容生活衛生同業組合旭支部	理容券
9	5/12	松永　立子	使用済み切手
10	5/12	横浜市水道局旭・瀬谷地域サービスセンター	使用済み切手
11	5/13	横浜市ひかりが丘地域ケアプラザ	エコキャップ
12	5/17	匿名	糸各種
13	5/17	小川　孝二	プルタブ
14	5/18	匿名	エコキャップ
15	5/18	横浜市ひかりが丘地域ケアプラザ	エコキャップ
16	5/20	二階堂　ケイ	プルタブ
17	5/21	柏保育園	エコキャップ
18	6/2	林　正男	プルタブ、エコキャップ
19	6/4	みどり友の会	プルタブ、エコキャップ
20	6/9	特別養護老人ホーム旭ホーム	エコキャップ
21	6/9	横浜市ひかりが丘地域ケアプラザ	エコキャップ
22	6/11	匿名	車いす
23	6/16	神奈川県理容生活衛生同業組合旭支部	理容券
24	6/23	伊藤　記子	エコキャップ
25	6/30	旭区ボランティア連絡会	エコキャップ
26	7/1	二階堂　ケイ	プルタブ
27	7/5	みどり友の会	エコキャップ
28	7/6	櫻井　美代子	エコキャップ、使用済み切手
29	7/7	杉山　昌子	使用済み切手
30	7/12	神奈川県理容生活衛生同業組合旭支部	理容券
31	7/20	都岡町内会環境部	エコキャップ
32	7/21	匿名	プルタブ、エコキャップ
33	8/2	二階堂　ケイ	プルタブ
34	8/2	特別養護老人ホーム旭ホーム	エコキャップ
35	8/2	増田　一樹	エコキャップ
36	8/4	匿名	プルタブ
37	8/11	神奈川県理容生活衛生同業組合旭支部	理容券
38	8/30	山名　勇	エコキャップ

No.	月 日	寄 託 者 名	物品名
39	9/6	閑野　政則	エコキャップ
40	9/7	木内　裕子	エコキャップ、使用済み切手
41	9/13	林　正男	プルタブ、エコキャップ
42	9/10	水島　俊弘	車いす
43	9/10	特別養護老人ホーム旭ホーム	エコキャップ
44	9/13	林　正男	プルタブ、エコキャップ
45	9/13	神奈川県理容生活衛生同業組合旭支部	理容券
46	9/15	みどり友の会	プルタブ、エコキャップ
47	9/21	横浜市水道局旭・瀬谷地域サービスセンター	使用済み切手
48	9/22	櫻井　美代子	プルタブ、エコキャップ
49	9/25	ひかりが丘薬膳料理の会	プルタブ
50	9/30	ＹＫＴ株式会社	ガムテープの芯
51	10/5	伊藤　喜代子	エコキャップ
52	10/7	あさひ茶花道協会	プルタブ、エコキャップ、使用済み切手、使用済みカード
53	10/7	田畑　直美	プルタブ、エコキャップ
54	10/12	森田　兼充	プルタブ
55	10/12	匿名	使用済み切手
56	10/14	二階堂　ケイ	プルタブ
57	10/14	神奈川県理容生活衛生同業組合旭支部	理容券
58	10/18	川口　勝子	プルタブ
59	10/20	特別養護老人ホーム旭ホーム	プルタブ、エコキャップ
60	10/27	ひかりが丘薬膳料理の会	プルタブ
61	11/10	神奈川県理容生活衛生同業組合旭支部	理容券
62	11/13	林　正男	エコキャップ
63	11/17	下川井町内会	プルタブ
64	11/29	渡邊　富次	使用済み切手
65	11/30	ひばりが丘自治会	プルタブ
66	12/1	林　正男	プルタブ
67	12/3	大髙　智佐子	エコキャップ
68	12/9	大越　由美子	プルタブ
69	12/11	肢体障害者福祉協会	エコキャップ
70	12/13	明るい社会づくり運動旭区協議会	車いす
71	12/15	ひかりが丘薬膳料理の会	プルタブ
72	12/15	小澤　貞夫	使用済み切手
73	12/16	都岡町内会環境部	エコキャップ
74	12/18	鶴ヶ峰本町町内会婦人部	使用済み切手、使用済みカード
75	12/25	櫻井　美代子	プルタブ、エコキャップ
76	12/27	特別養護老人ホーム旭ホーム	プルタブ、エコキャップ、使用済み切手

No.	月 日	寄 託 者 名	物品名
77	1/11	神奈川県理容生活衛生同業組合旭支部	理容券
78	12/10	神奈川県理容生活衛生同業組合旭支部	理容券
79	1/12	閑野　義則	エコキャップ
80	1/17	桑原　清子	エコキャップ
81	1/19	宮島　由美	使用済み切手
82	1/18	堀澤　寛	カラビナ
83	1/25	菅野　章子	プルタブ
84	1/25	横浜旭郵便局	使用済み切手、使用済みカード
85	1/26	鈴木　栄	プルタブ
86	2/3	横浜市立笹野台小学校	プルタブ
87	2/8	宮地　美奈子	エコキャップ
88	2/8	神奈川県理容生活衛生同業組合旭支部	理容券
89	2/9	特別養護老人ホーム旭ホーム	プルタブ、エコキャップ
90	2/16	ひかりが丘薬膳料理の会	プルタブ
91	2/26	櫻井　美代子	エコキャップ
92	3/3	林　正男	プルタブ、エコキャップ
93	3/4	田丸　勉	プルタブ
94	3/8	神奈川県理容生活衛生同業組合旭支部	理容券
95	3/22	大越　由美子	プルタブ、エコキャップ、使用済み切手
96	3/23	横浜旭ロータリークラブ	エコキャップ
97	3/23	特別養護老人ホーム旭ホーム	プルタブ、エコキャップ
98	3/25	都岡町内会環境部	エコキャップ
99	3/28	二階堂　ケイ	プルタブ
100	3/28	(株)トーケン	使用済み切手
101	3/30	平田　真義	エコキャップ

平成２２年度　善意銀行寄託者一覧

〇金品寄付一覧

≪社会福祉のために≫

No.	月 日	寄 託 者 名	金　額
1	4/12	匿名	1,000
2	4/15	匿名	2,717
3	4/19	匿名	500
4	4/30	田邊　敏	115,669
5	5/10	荻窪　邦昭	10,000
6	5/17	旭区舞踊協会	54,819
7	5/20	匿名	355
8	5/24	あさひ茶花道協会	28,410
9	5/25	遠藤　清美	20,000
10	6/5	匿名	200,000
11	6/9	匿名	27
12	6/30	旭蕎麦商組合	30,726
13	7/13	匿名	447
14	8/5	金子　晶子	10,000
15	8/18	旭区ボランティア連絡会	10,000
16	8/20	内田　忠夫	2,921
17	8/20	匿名	1,000
18	8/30	本宿中学校川島西町内会生徒一同	10,000
19	9/6	鶴貝　敬司	50,000
20	9/7	ブティックさくら	100,000
21	9/28	武田　光子	20,000
22	10/4	松﨑　峯吉・ツネ子	100,000
23	10/4	匿名	5,000
24	10/7	匿名	1,000
25	10/26	保土ヶ谷青色申告会旭事務所	15,100
26	10/28	荻窪　邦昭	10,000
27	11/1	旭区ボランティア連絡会	10,000
28	11/11	（社）神奈川県エルピーガス協会横浜旭・保土ヶ谷支部	30,000
29	11/25	(社）横浜建設業協会旭区会	50,000
30	11/25	匿名	1,000
31	11/29	都岡町内会チャリティもちつき大会	29,750
32	12/2	大成鉱業株式会社	100,000
33	12/3	ヘアーメイクファンジョン	51,600
34	12/6	匿名	45,000
35	12/8	荻窪　邦昭	10,000
36	12/7	ブティックさくら	100,000
37	12/15	グループかもめ	5,000

No.	月 日	寄 託 者 名	金 額
38	12/18	鶴ヶ峰本町町内会婦人部	5,000
39	12/21	児玉　よし子	30,000
40	12/22	カナエル会	25,650
41	12/24	横浜総合プラン	100,000
42	12/24	伊藤　志壽江	22,000
43	12/25	匿名	30,000
44	12/28	旭区仕事納め会実行委員会	18,347
45	12/28	旭地域労働組合協議会	28,784
46	1/13	亀の甲山テニスクラブ	30,000
47	1/13	匿名	1,000
48	1/25	匿名	2,500
49	2/2	サークルAJYUL	7,750
50	2/8	陣　昭三	6,950
51	2/18	山田　恵子	50,000
52	2/25	伊藤　義範	1,500
53	3/11	善部町くるまやラーメン	8,432
54	3/16	匿名	10,000
55	3/24	匿名	12,000
56	3/30	ヘアーメイクファンジョン	20,000

○金品配分先一覧

≪社会福祉のために≫　　合　　計　　5,118,496円

No.	配　分　先	金　　額
1	配食グループ「にんじん」	269,630
2	おべんとう．ひよどり	360,160
3	NPO法人アレルギーを考える母の会	200,000
4	木々の会	220,000
5	二俣川ニュータウンチョコットしえんたい	150,000
6	区社協　おでかけ支援事業	256,000
7	区社協　福祉教育事業	273,706
8	区社協　バリアフリー事業	511,000
9	万騎が原地区社会福祉協議会	30,000
10	旭区幼保小教育交流事業	50,000
11	家庭的保育事業（駅前・共同型）	1,700,000
12	日本赤十字社神奈川県支部横浜市地区本部旭区地区委員会	48,000
13	区社協　福祉基金積立	1,000,000
14	小学校入学交通遺児	50,000

○物品配分先一覧

物品名	配分先
理容券	区内在住身障手帳等交付されている方
車いす	サニーヒル横浜
ガムテープの芯	障害児者サポートグループかもめ
エコキャップ	NPO法人　共に歩む
プルタブ	地域活動ホームあさひ
使用済みプリペイドカード	（福）光友会　藤の実学園
使用済み切手	鎌倉清和学園